

一人でも多くの人に、音楽の楽しさを伝えていきたい——

プロの打楽器奏者として、演奏活動や指導で全国を飛び回る初鹿野さん。11月12日には、島田市芸術文化奨励賞を受賞しました。音楽の楽しさを、さらに多くの人に伝えるため、活動しています。

【観客との一体感】

小学生の頃、通っていた音楽教室で「ティンパニ」に出会い、打楽器の面白さに気付いたという初鹿野さん。一人だけでは出せない、仲間とともに奏でる音楽に魅了され、プロの道を志しました。

「音大を卒業してからは、演奏活動をしたり、学校で部活の指導員をしたりしていました。そんな中、全身で表現しながら演奏するパフォーマンス集団『T.J.P.A.L.』から誘われて、今では全国各地でコンサートや学校の音楽鑑賞教室

に出演しています。演奏は、会場のお客さんと一緒に盛り上げて

がって楽しむスタイル。お客さんが、ステージで演奏に参加することも多いですよ

【ライブで得られる感動】

「T.J.P.A.L.」で得た経験を元に、打楽器の楽しさ、観

められています。

「今は、インターネットで

検索すれば、すぐに音楽が聴けるけれど、生で観て肌で感じる音楽の良さを、ぜひ多くの人に体験してほしいですね。お客さんと一緒に作り出

【子どもたちへのエール】

SK²が9月28日に、島田第二小で行った音楽鑑賞教室のテーマは「なりたい自分」になってみよう。明確な夢や目標がないと悩む児童に、メッセージを送りました。



エスケーツー
プロ打楽器奏者 SK² 主宰
はつかのしょう
初鹿野 翔さん(南二丁目)

客と一緒に楽しむ音楽の魅力をもっと広めたいと、初鹿野さんが立ち上げたユニットが「SK²」。マリンバ1台を3人で弾く構成には、音楽だけでなくパフォーマンスも楽しんでもらいたいという思いが込

められています。す会場の雰囲気も、パフォーマンスも楽しんでもらいたいから、全力で演奏しています。打楽器は、振動が全身に響くのを感じられるのが良いところ。データでは伝わらない感動が、ライブにはありますよ

「僕自身も『みんなを楽しませる自分』を目指した結果が、今の自分。ほんのちよつとしたことでも『なりたい自分』になってみる』ことが、大事なんじゃないかな。すぐに夢が見つからなくても、なりたい自分を目指していくと、少しずつ見えてくるかもしれない。子どもたちには、いろんなことを体験してほしい。自分の人生を変えるような出会いだって、きっとあるはず。僕は、常に『一期一会』の精神を大事にしています。同じ演奏も、同じお客さんも二度とない。聴いた人にとって、かけがえのない体験になるかもしれない。そんな体験を、僕も提供できたらうれしいですね」

初鹿野さんが、仲間と観客とともに作り上げるパフォーマンスは、これからも多くの人々を魅了し続けます。



島田第二小で演奏するSK²のメンバー(右端が初鹿野さん)と児童たち

Shimadajin File #97

島田 Story 人